

新送票法を以て一掃を多敷の有権者を生じ、此の上は協賛の合理的
實効的ナル運用方法ヲ政府に規定するハ、一方に協賛事業ノ小成を以て
断言セザルヲ得ナシ

以上、如キ不在投票不制定ノ立法上ノ沿革、趣旨ノ下ニ立脚シテ政府当
局ノ票法如何ナル運用方法ヲ政電九ノ制定ニシテ之ヲ、同法下ニ於テ但
テ考慮セズ、單ク不在投票者ノ同一取扱中ニ卷込メテ之ヲ於テハ其
法律上、政電九ノ如何ナル根據ニ拘ルベシ、吾人特殊ノ立場ニテハ解員トシテハ
断固トシテ之ニ反對セザルヲ得ナシ、然レモ吾等ハ對テ、有次ニ其ノ如何ニ
此送票權ヲ完全ニ行使スルニ同法九ノ規定但書ノ適用ヲ許シ、政府
例トシテ委任投票、到テ、代理投票制ヲ認ムルニトシ、一途アルニトス。
以下吾人ノ言等ノ權利ノ擁護上、送票不制定ノ不合理ニシテ、然レモ電道九ノ
初果ノ其ノキコト、委任投票ニ依ラザルベカラレ理由ヲ諦ム

郵送投票ノ範圍

- 一、改正送票法第九ノ三ノ第一ノ同法九ノ八條ノ對照スルトキハ、郵送投票不制定
ノ範圍ノ最大限、改定ノ數ハ二十五日間ヲ以テス。
- 二、而シテ投票者ノ權者同法九ノ八條ニ依リ、送票ノ公布アリタル場合、
先ノ自己ノ選舉區ノ市町村役場ニ對シテ投票用紙ヲ請求シ、各市町村
役場ハ選舉者ノ投票ニ對照シテ、相当複雜ナル手續キテ之ヲ請求有
権者ニ送付シ、有権者ハ之ニ依リテ愈々自己ノ投票ヲ行ハシ、送票區ノ支
理者ハ郵送票(送票用紙前日迄)モ、トクアツテ、此間ニ往復ヲ要シ、全体簡
便ノ期間ハ一日間ヲ以テ、往復毎ノ手續キ、輸送上當然生ズベキ事故
ハ、送延并ヤ弊ヲ入ルナラバ、此ノ猶豫期間ハ更ニ減縮サレド。
- 三、船舶ニ依リ、輸送ノ當否ノ不可抗力又ハ遺失ニシテ送延ヲ供フ、
四、郵送投票ニ於テハ、多ク送票人ノ如何ニシテ候補者ノ区名ヲ知レ得ルカ、
候補者ノ何人ナルカヲ知ラズシテ投票ヲ行ハシ得ルカ、今ハ偶然ニ知レ得ルニ
限リ、區名ニ止リ、其ノ格、經歷、政見、見解、若シテ知悉ニシトハ出